



2023年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年5月11日

上場会社名 富士製薬工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4554 URL <https://www.fujipharma.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岩井 孝之
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 (氏名) 佐藤 武志 (TEL) 03-3556-3344
 経営企画部長
 四半期報告書提出予定日 2023年5月12日 配当支払開始予定日 2023年6月1日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年9月期第2四半期の連結業績(2022年10月1日～2023年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年9月期第2四半期	19,225	8.5	1,824	△32.7	2,456	△14.3	1,772	△3.3
2022年9月期第2四半期	17,726	2.6	2,712	1.0	2,866	4.7	1,834	△9.3

(注) 包括利益 2023年9月期第2四半期 5,120百万円(47.5%) 2022年9月期第2四半期 3,471百万円(41.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年9月期第2四半期	72.95	—
2022年9月期第2四半期	75.50	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年9月期第2四半期	84,803	40,452	47.7
2022年9月期	75,538	35,806	47.4

(参考) 自己資本 2023年9月期第2四半期 40,449百万円 2022年9月期 35,803百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年9月期	—	15.00	—	20.00	35.00
2023年9月期	—	17.00			
2023年9月期(予想)			—	20.00	37.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年9月期の連結業績予想(2022年10月1日～2023年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	43,311	22.3	4,048	7.2	4,088	9.7	2,974	10.3	122.42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年9月期2Q	24,753,800株	2022年9月期	24,753,800株
② 期末自己株式数	2023年9月期2Q	450,913株	2022年9月期	459,229株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年9月期2Q	24,299,826株	2022年9月期2Q	24,291,714株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。上記予想に関する事項については〔添付資料〕P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（5）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) キャッシュ・フローの状況	3
(4) 研究開発活動	3
(5) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	10
4. 補足情報	11
(1) 販売実績	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルスの感染対策と経済活動の両立が進むなか、個人消費を中心に回復の兆しを見せ始めた一方、不安定な世界情勢が続く原材料価格やエネルギー価格が高騰するなかで急激な為替変動が加わり、物価上昇が止まらないなど、先行き不透明な状況となっております。

医療用医薬品業界におきましては、社会保障費の増加に伴う薬価抑制は続き、2021年4月以来、毎年薬価改定が実施されるなどその事業環境はますます厳しくなっております。なお、当社製商品につきましては、医薬品の安定供給問題や急激な原材料の高騰などによる不採算品再算定により、3.6%の引き上げとなりました。

このような状況のもと、当社グループは2030年ビジョンとして「世界の女性のwell-beingの向上に貢献している」「薬の富山からGlobal Marketに進出している」「世界一幸せな会社と社会貢献が一体化している」を”10年後のありたい姿”として掲げ、これを実現するための中間地点である2024年9月期に向かう道筋を示した行程表として、中期経営計画を策定しております。本中期経営計画では「Fujiらしくをあたらしく」をテーマとし、当社の強みである女性医療領域・急性期医療領域を強化しつつ、スピード感を持って、ASEANや北米といった海外事業へ積極的に参入し、その先の5年間でさらに拡大できるように新薬・バイオシミラー・ジェネリックのパイプラインを充実させるなど、2030年に向けた成長戦略にグループ全体で取り組んでおります。

そのなかで当社は、女性医療領域において、更年期障害及び卵巣欠落症状に対する卵胞ホルモン剤投与時の子宮内膜増殖症の発症抑制を効能効果とした、天然型黄体ホルモン製剤「エフメノカプセル100mg」（一般名：プロゲステロン）、不妊治療に用いられる医薬品として2022年4月に薬価基準に収載された「生殖補助医療における黄体補充」を効能・効果とする天然型黄体ホルモン製剤「ウトログestan腔用カプセル200mg」の販売に注力するとともに、ジェネリック医薬品においては、子宮内膜症治療剤「ジェノゲスト錠」、緊急避妊剤「レボノルゲストレル錠」、経口避妊剤「ファボワール錠」「ラベルフィーユ錠」を中心にシェア拡大を図っております。これら主要製品の需要増加に対応するため、富山工場内に建設したホルモン錠剤を製造する新錠剤棟は、2023年から本格稼働する予定です。ホルモン錠剤の生産能力を拡大し、女性のwell-beingの向上により一層貢献すると同時に安定供給への責任を果たして参ります。

急性期医療領域である放射線科領域においては、非イオン性尿路・血管造影剤「イオパミドール注」、非イオン性造影剤「イオヘキソール注」の更なるシェアの拡大に向け注力しております。

また、「サルプレップ配合内用液」を始めとする日本製薬株式会社からの承継品は、今後のバイオシミラー事業との相乗効果が期待される製剤として販売拡大に向けて取り組んでおります。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、19,225百万円(前年同期比8.5%増)となりました。利益面につきましては、減価償却費の増加などにより営業利益は1,824百万円(同32.7%減)となり、経常利益は2,456百万円(同14.3%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,772百万円(同3.3%減)となりました。

なお、当社グループは、医薬品事業の単一セグメントであるため、セグメント情報は記載しておりません。

(2) 財政状態の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産額は84,803百万円となり、前連結会計年度末比9,265百万円の増加、純資産は40,452百万円と前連結会計年度末に比べ4,646百万円の増加となり、自己資本比率は47.7%となりました。

(資産)

資産の部においては、流動資産については、棚卸資産が増加したこと等により4,198百万円の増加、固定資産については、リース資産の増加等により5,067百万円増加しております。

(負債)

負債の部においては、流動負債については、短期借入金の増加等により1,606百万円増加しております。固定負債については社債の発行等により3,012百万円増加しております。

(純資産)

純資産の部においては、その他有価証券評価差額金の増加等があったこと等により、4,646百万円増加しております。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物は5,282百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前四半期純利益2,456百万円に、棚卸資産の増加額1,896百万円及び、売上債権の増加額1,674百万円等があった一方、減価償却費1,294百万円及び、仕入債務の増加額807百万円等により、営業活動による収入は1,516百万円(前年同期は1,076百万円の支出)となりました。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

有形固定資産の取得による支出1,248百万円及び、長期前渡金による支出1,242百万円があったこと等により投資活動による支出は2,872百万円(前年同期比7,423百万円の支出減)となりました。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

社債の発行等による収入2,985百万円等があったこと等により、財務活動による収入は3,058百万円(前年同期比3,930百万円の収入減)となりました。

(4) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間における研究開発費の総額は、1,368百万円であります。なお、当第2四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

(5) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間の業績は、2022年11月10日に公表した計画に対して、ほぼ予定どおりの進捗であることから、2023年9月期の連結業績予想は変更しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(追加情報)

(役員向け株式交付信託について)

当社は、中長期的な業績向上と企業価値増大への貢献意欲を高めることを目的として、当社の取締役(代表取締役会長および社外取締役を除きます。)及び執行役員(株式交付規程に定める受益者要件を満たす者)を対象とした業績連動型株式報酬制度「役員向け株式交付信託」を導入しております。当該信託契約に係る会計処理については、「従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第30号 2015年3月26日)に準じて、総額法を適用しております。

(1) 取引の概要

本制度は、当社が拠出する金銭を原資として設定した信託を通じて当社株式(当社普通株式。以下同じ)を取得し、取締役等に対して、当社取締役会が定める役員等株式交付規程に従って、その役位及び業績に応じて付与されるポイントに基づき、信託を通じて当社株式及び金銭を毎年交付する株式報酬制度であります。取締役会は、役員等株式交付規程に従い、毎年12月にポイント算定の基礎となる金額を決議し、それに応じた株式を、翌年11月に交付いたします。

(2) 信託に残存する自社の株式

信託に残存する当社株式を、信託における帳簿価額(付随費用の金額を除く)により純資産の部に自己株式として計上しております。当該自己株式の帳簿価額及び株式数は、前連結会計年度37百万円、25,857株、当第2四半期連結会計期間25百万円、17,541株であります。

3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,546	5,282
受取手形	793	2,658
売掛金	11,734	11,570
商品及び製品	3,714	4,737
仕掛品	3,863	3,294
原材料及び貯蔵品	8,246	9,741
前渡金	769	879
未収入金	134	173
その他	1,925	587
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	34,727	38,925
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8,187	9,314
機械装置及び運搬具(純額)	3,820	2,412
土地	1,073	1,084
リース資産(純額)	2,219	3,488
建設仮勘定	3,016	2,153
その他(純額)	445	545
有形固定資産合計	18,762	18,998
無形固定資産		
のれん	691	551
販売権	9,053	8,900
その他	660	671
無形固定資産合計	10,404	10,123
投資その他の資産		
投資有価証券	7,339	11,905
長期前渡金	1,574	2,817
繰延税金資産	1,432	132
その他	1,296	1,901
投資その他の資産合計	11,643	16,755
固定資産合計	40,810	45,877
資産合計	75,538	84,803

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,249	7,083
短期借入金	8,300	10,300
前受金	1,471	96
1年内返済予定の長期借入金	2,440	2,320
1年内償還予定の社債	—	600
リース債務	377	516
未払法人税等	444	306
賞与引当金	981	621
役員賞与引当金	9	6
その他	3,701	3,730
流動負債合計	23,975	25,582
固定負債		
長期借入金	11,193	10,093
社債	—	2,400
リース債務	2,259	3,454
退職給付に係る負債	1,766	1,850
その他	537	971
固定負債合計	15,756	18,769
負債合計	39,732	44,351
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,799	3,799
資本剰余金	4,409	4,409
利益剰余金	26,546	27,832
自己株式	△579	△567
株主資本合計	34,175	35,473
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	160	3,328
繰延ヘッジ損益	16	0
為替換算調整勘定	1,442	1,638
退職給付に係る調整累計額	8	7
その他の包括利益累計額合計	1,627	4,975
非支配株主持分	2	2
純資産合計	35,806	40,452
負債純資産合計	75,538	84,803

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)
売上高	17,726	19,225
売上原価	10,050	11,601
売上総利益	7,675	7,623
販売費及び一般管理費	4,963	5,799
営業利益	2,712	1,824
営業外収益		
受取利息	0	0
為替差益	175	21
寄付金収入	—	110
デリバティブ評価益	—	487
その他	31	84
営業外収益合計	207	704
営業外費用		
支払利息	44	52
社債発行費	—	14
その他	9	5
営業外費用合計	53	72
経常利益	2,866	2,456
特別損失		
固定資産除却損	1	—
特別損失合計	1	—
税金等調整前四半期純利益	2,865	2,456
法人税、住民税及び事業税	848	367
法人税等調整額	182	316
法人税等合計	1,030	683
四半期純利益	1,834	1,772
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,834	1,772

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)
四半期純利益	1,834	1,772
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	861	3,167
繰延ヘッジ損益	39	△15
為替換算調整勘定	737	196
退職給付に係る調整額	△1	△1
その他の包括利益合計	1,637	3,347
四半期包括利益	3,471	5,120
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,471	5,120
非支配株主に係る四半期包括利益	0	0

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,865	2,456
減価償却費	1,100	1,294
のれん償却額	138	157
貸倒引当金の増減額(△は減少)	0	0
賞与引当金の増減額(△は減少)	△251	△360
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△3	△3
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	37	71
受取利息及び受取配当金	△0	△0
支払利息	44	52
為替差損益(△は益)	△192	△39
売上債権の増減額(△は増加)	△441	△1,674
棚卸資産の増減額(△は増加)	△1,270	△1,896
仕入債務の増減額(△は減少)	△422	807
その他	△1,894	1,251
小計	△291	2,116
利息及び配当金の受取額	0	0
利息の支払額	△46	△49
法人税等の支払額	△739	△551
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,076	1,516
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,977	△1,248
有形固定資産の売却による収入	4	5
無形固定資産の取得による支出	△7,092	△276
長期前渡金による支出	△230	△1,242
その他	△0	△110
投資活動によるキャッシュ・フロー	△10,296	△2,872
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,300	2,000
長期借入れによる収入	7,300	—
長期借入金の返済による支出	△920	△1,220
社債の発行による収入	—	2,985
配当金の支払額	△364	△486
リース債務の返済による支出	△326	△221
財務活動によるキャッシュ・フロー	6,988	3,058
現金及び現金同等物に係る換算差額	160	33
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△4,223	1,735
現金及び現金同等物の期首残高	10,199	3,546
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,975	5,282

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループ(当社及び連結子会社)は、医薬品事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 販売実績

薬効	前第2四半期連結累計期間 自 2021年10月1日 至 2022年3月31日		当第2四半期連結累計期間 自 2022年10月1日 至 2023年3月31日		前年同期比 増減率 (%)
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	
(製 品)					
ホルモン剤	5,538	31.2	7,139	37.1	28.9
診断用薬	3,831	21.6	3,576	18.6	△6.7
代謝性医薬品	692	3.9	1,110	5.8	60.4
組織細胞機能用医薬品	476	2.7	482	2.5	1.1
神経系及び感覚器用剤	515	2.9	372	1.9	△27.8
抗生物質及び化学療法剤	295	1.7	329	1.7	11.5
循環器官用薬	280	1.6	225	1.2	△19.7
その他	4,684	26.4	4,896	25.5	4.5
製品合計	16,315	92.0	18,131	94.3	11.1
(商 品)					
ホルモン剤	620	3.5	532	2.8	△14.2
体外診断用医薬品	78	0.4	67	0.4	△14.0
その他	711	4.0	493	2.6	△30.6
商品合計	1,410	8.0	1,093	5.7	△22.5
合 計	17,726	100.0	19,225	100.0	8.5

(注) 1. 当社グループは、医薬品事業の単一セグメントであり、セグメント情報を記載していないため、薬効分類別販売実績を記載しております。

2. 金額は販売価格で表示しており、消費税等は含まれておりません。

3. 百万円未満の端数は切り捨てて表示しております。